



【 利用者の方からの質問 】

秋冬野菜の管理について



【 豊嶋さんからの回答 】

もう11月になってしまい、虫は峠を越えたと思いますから、それ以外のポイントです。雨が多い場合と少ない場合のお話をしますね。
今頃以降、雨が多いと病気が心配になります。玉ねぎやブロッコリーのべと病、レタスやキャベツの菌核病などです。べと病は11月あたりの降雨ではね返った土から感染して後に大きな被害を出します。雨が多い年はできれば雨予報の前に予防的に防除をしておくことで被害を軽減できます。菌核病は葉や茎に綿のような白いカビが出る病気です。見つけたら白い綿が広がる前に除去してしまいましょう。
雨が少ない場合に注意が必要なのはハクサイや菜の花、大根などの成長の遅れです。これらの品目は種を播いたときに将来、花が咲く(トウが立つ)時期が決まってしまう性質を持ちます(逆にキャベツ、ブロッコリー、カリフラワーはそうではありません)。なので、まだあたたかい11月に水不足で生育が遅れてしまうと、後に結球しなかったり、株が小さなまま蕾がついたりして収穫できなくなってしまいます。キャベツはほうっておいても、ハクサイには水をあげましょう。

